



# 試験成績書

依試第7H67416号

受付日：平成9年9月17日

依頼者 株式会社 ロンビックジャパン

代表取締役 松田 寛 司 殿

東京都中野区本町5-6-11

試験名称 耐震構造目地材の性能試験

## 「水密性能」

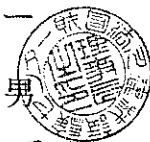
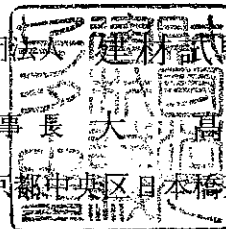
標記試験の結果はこの文書のとおりである。

平成9年11月28日

財団法人 建築試験センター

理事長 大島 英 男

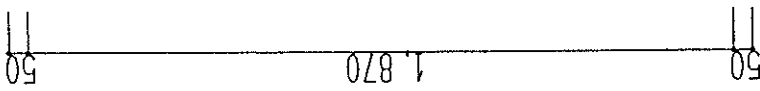
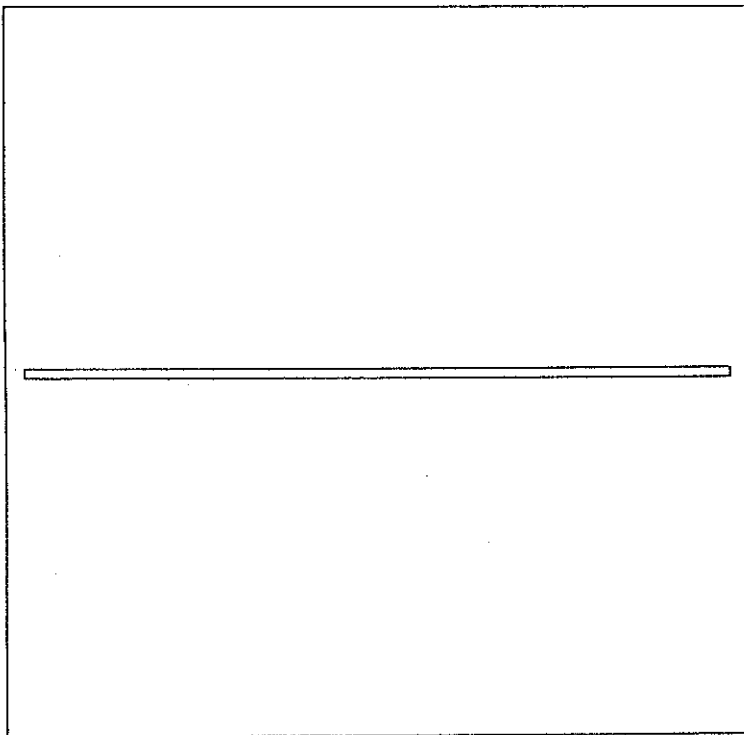
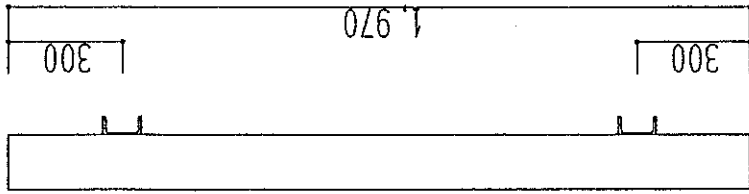
東京都中央区日本橋茅場町2丁目9番8号



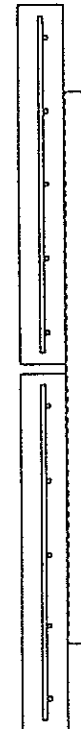
## 試 験 成 績 書

試験名称	耐 震 構 造 目 地 材 の 性 能 試 験	
依頼者	株式会社 ロンビックジャパン	
試験項目	水 密 性	
試験体	商品名： スリット 構造： 鉄筋コンクリート製パネル 目地材の材質： (1次シーリング材) ウレタン系 450g/m 厚さ15mm (充填材) ロックウール保温板 (2次シーリング材) 再生ブチルシーラー, ポリエチレン発泡体 試験体寸法： 1970mm×1970mm 試験体図： 図-1～図-3及び写真-1～写真-2	
試験方法	図-4に示す動風圧試験装置(圧力箱方式)を使用した。 1次シールの劣化, 断裂を想定して試験体の目地の全長にわたって深さ方向に4段階のシール切断を施し, 各々について試験体に水を噴霧しながら図-5に示す加圧プロセス(平均圧力100～360kgf/m <sup>2</sup> )で加圧した時の試験体室内側への漏水状況を観察する。	
試験結果	1次シール切断状況	水 密 性 試 験 結 果
	25% (3.8mm) 切断	平均圧力360kgf/m <sup>2</sup> までの加圧で漏水は認められなかった。 水密性試験結果を表-1に示す。
	50% (7.5mm) 切断	平均圧力360kgf/m <sup>2</sup> までの加圧で漏水は認められなかった。 水密性試験結果を表-2に示す。
	100% (15mm) 切断	平均圧力360kgf/m <sup>2</sup> までの加圧で漏水は認められなかった。 水密性試験結果を表-3に示す。
	1次シール除去	平均圧力360kgf/m <sup>2</sup> までの加圧で漏水は認められなかった。 水密性試験結果を表-4に示す。
試験期間	平成 9年10月29日	
試験担当者	物理試験課長 上 園 正 義 試験実施者 町 田 清 介 中 島 啓 介	
試験場所	中 央 試 験 所	

単位 mm



A20



S=1/20

図-1 試験体

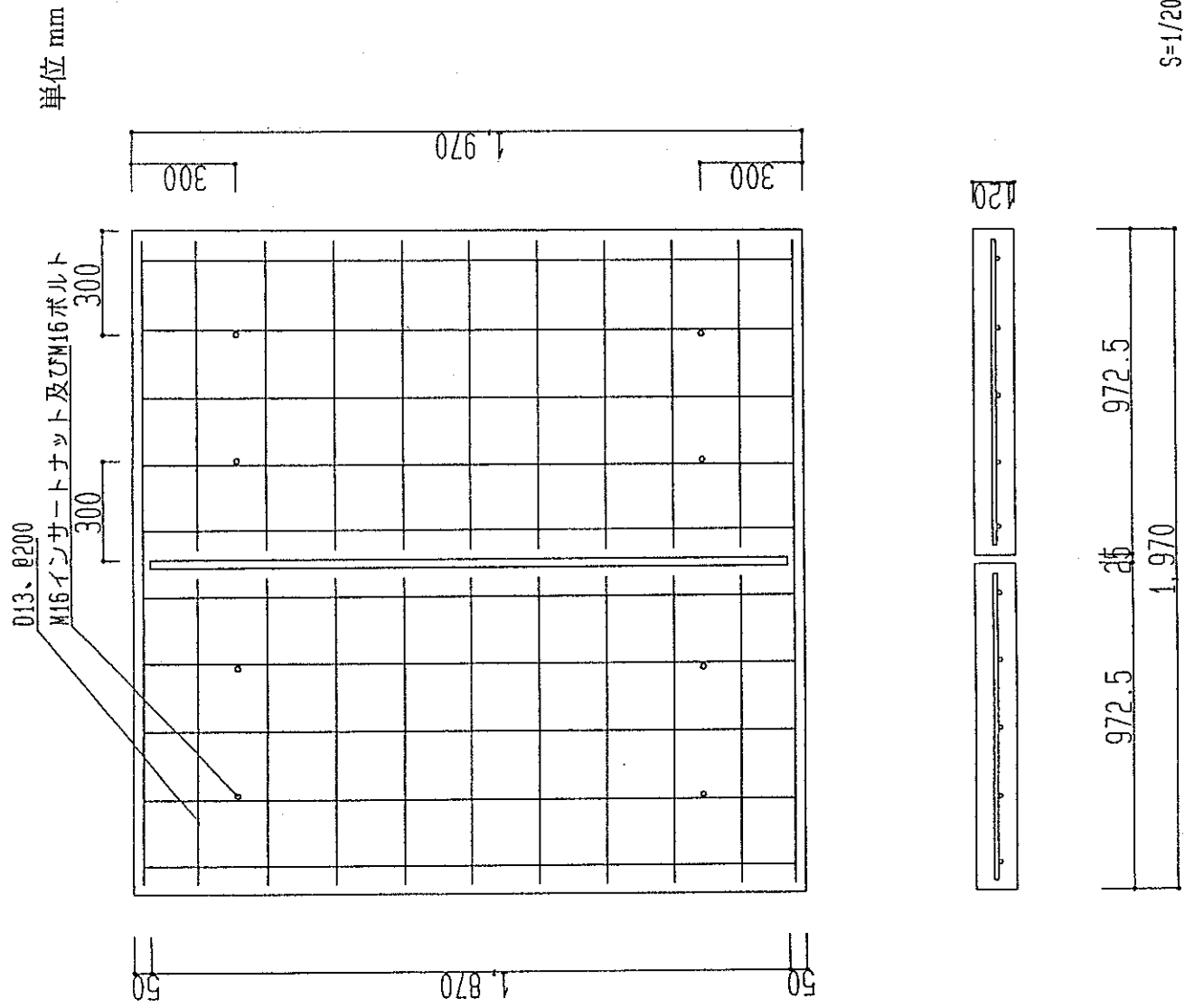
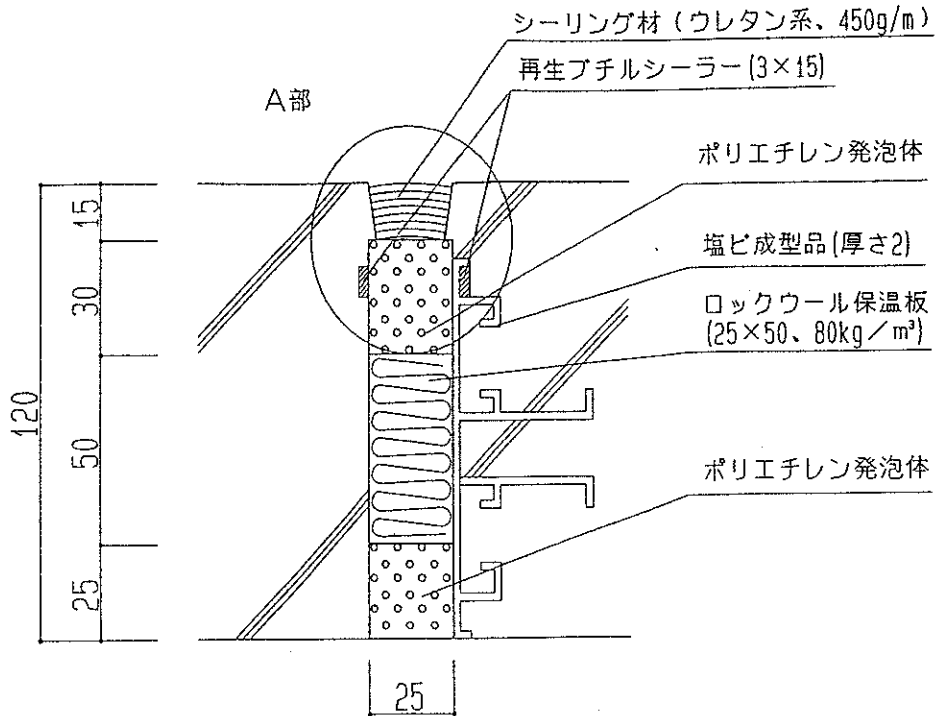


図-2 試験体

単位 mm

### 垂直スリットタイプ



垂直スリットタイプA部詳細図

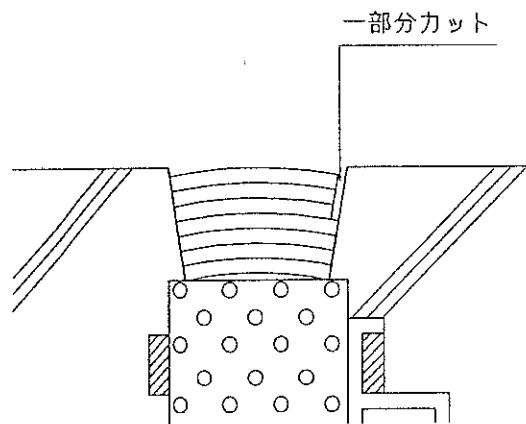


図-3 試験体

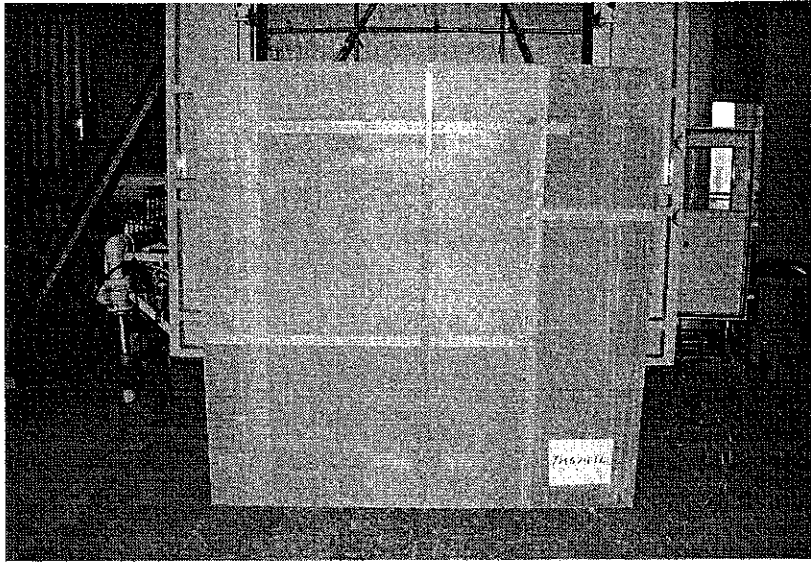


写真-1 試 験 体  
( 室 外 側 )

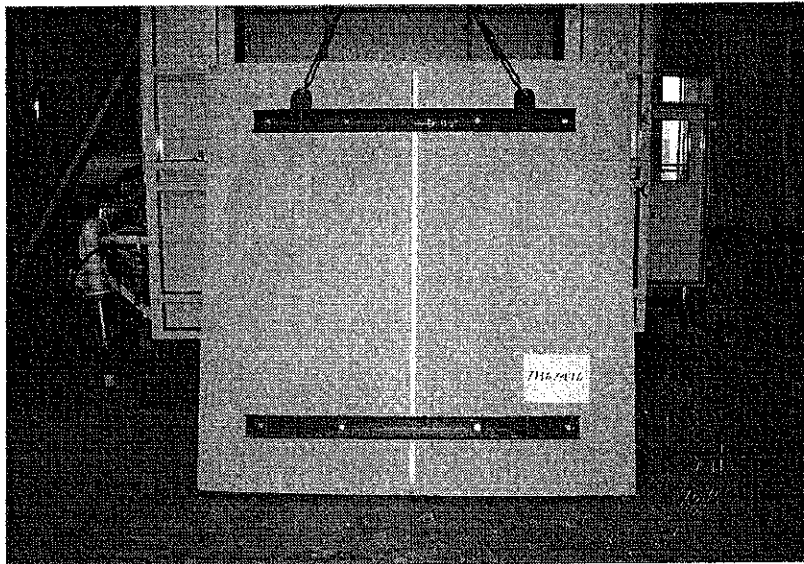


写真-2 試 験 体  
( 室 内 側 )

動風圧試験装置は、圧力箱、送風機、圧力調節機、圧力測定器などから構成されている。本装置は、圧力箱に取り付けた試験体に、送風機で発生させた圧力を自動制御によって任意の圧力で加えることができる。又、通気量測定装置、散水装置及び変位測定装置を備えており、気密試験、水密試験及び耐風圧試験を行うことができる。

圧力は室外側からの加圧（圧力箱内を加圧）を正圧、室内側からの加圧（圧力箱内を減圧）を負圧とする。

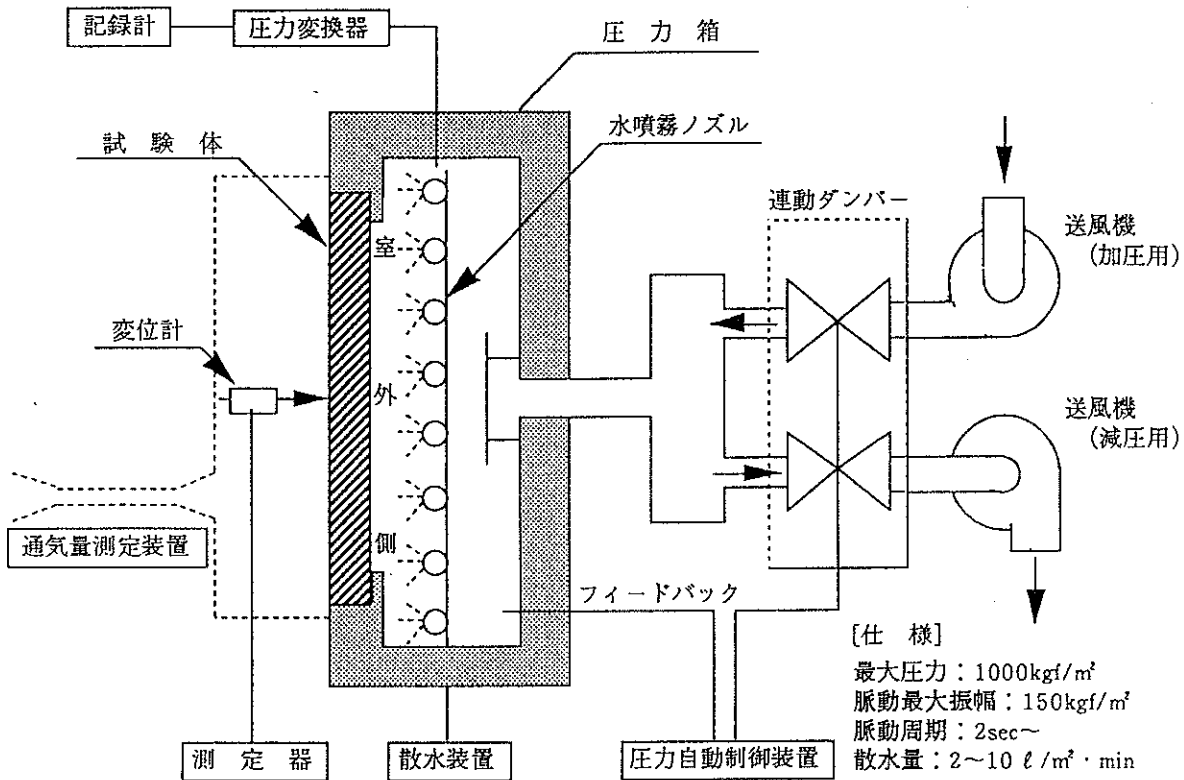
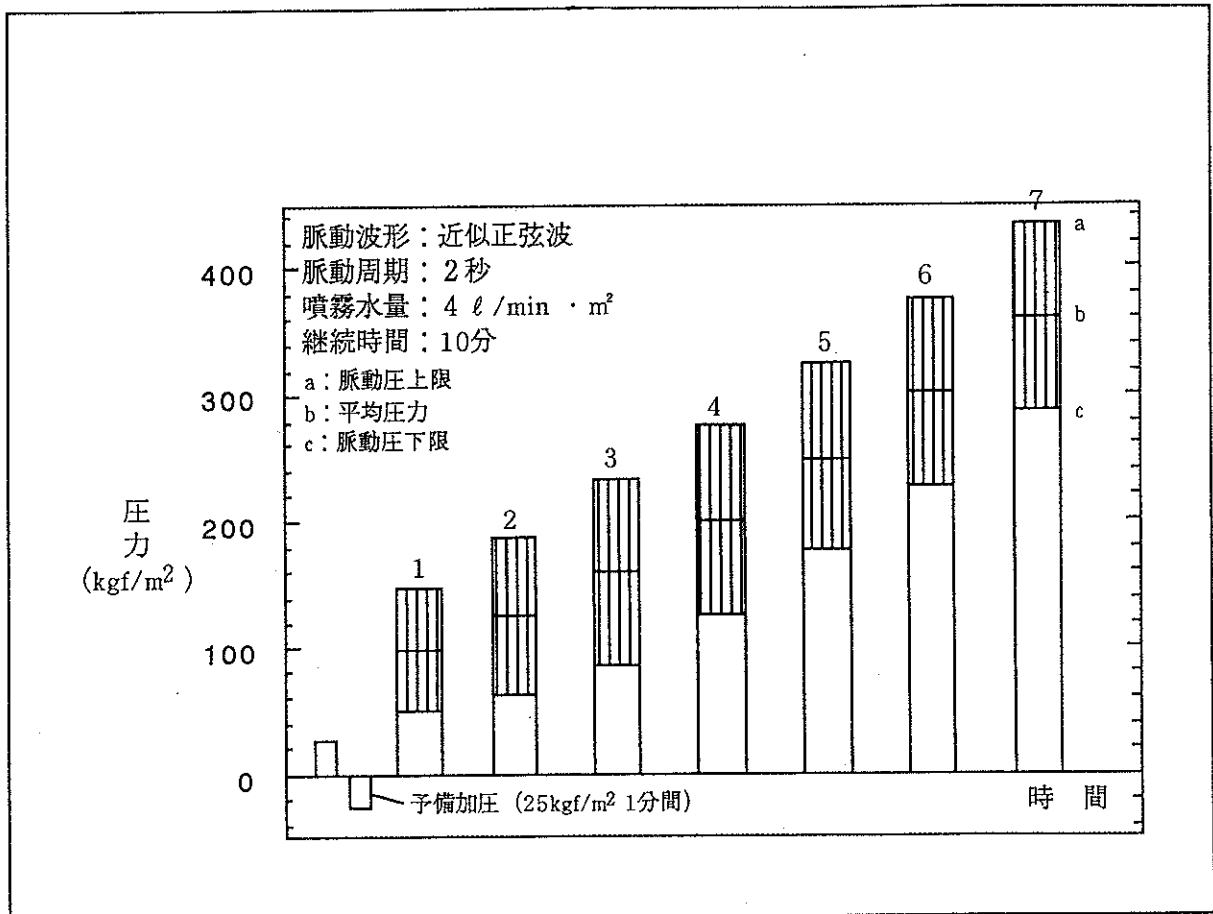


図-4 動風圧試験装置



ステップ	1	2	3	4	5	6	7
脈動上限圧力 (a)	150	187	235	275	325	375	435
平均圧力 (b)	100	125	160	200	250	300	360
脈動下限圧力 (c)	50	63	85	125	175	225	285

図-5 水密性試験加圧プロセス



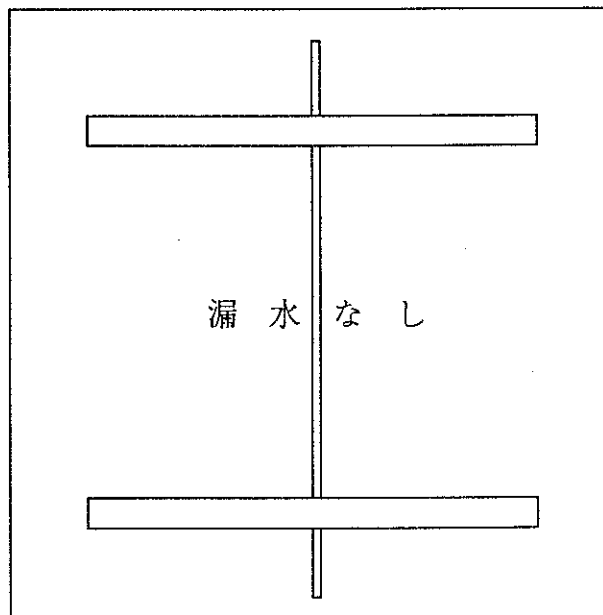
表-1 水密性試験結果

(依試7H67416号)

試験体	加圧方法	継続時間	噴霧水量	試験日
スリット	脈動圧	10 min	4 l/m <sup>2</sup> ・min	平成9年10月29日

平均圧力 (kgf/m <sup>2</sup> )	漏水状況
100	漏水なし
125	漏水なし
160	漏水なし
200	漏水なし
250	漏水なし
300	漏水なし
360	漏水なし

漏水位置 (内観図)



シール切断25% (3.8mm)

記号	△ にじみ出し：水が滲み、室内側表面が濡れる状態
	○ 泡立ち：空気漏れがあり、それが水と一緒に室内側で気泡となる状態
	☒ 流れ出し：室内側に水が定期的に流れ落ちる状態
	⊙ しぶき：たまった水が空気の漏れと一緒に水滴となって飛散する状態
	☒ 吹き出し：空気と水と一緒に水滴となって飛散する状態

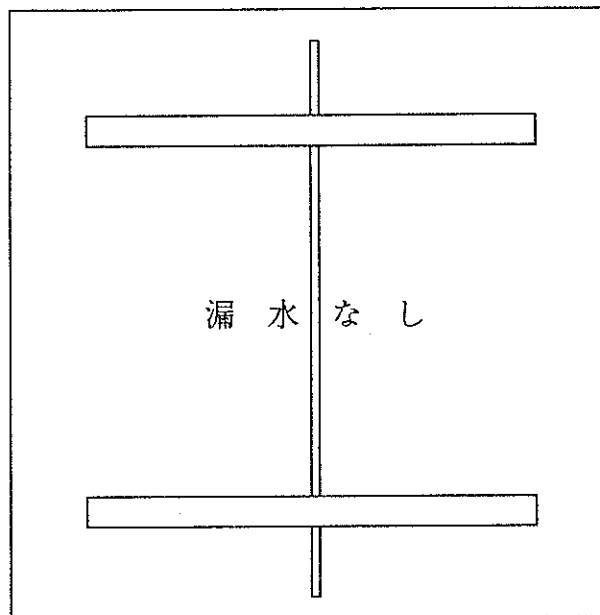
表-2 水密性試験結果

(依試7H67416号)

試験体	加圧方法	継続時間	噴霧水量	試験日
スリット	脈動圧	10 min	4 l/m <sup>2</sup> ・min	平成9年10月29日

平均圧力 (kgf/m <sup>2</sup> )	漏水状況
100	漏水なし
125	漏水なし
160	漏水なし
200	漏水なし
250	漏水なし
300	漏水なし
360	漏水なし

漏水位置 (内観図)



シール切断50% (7.5mm)

記 号	△ にじみ出し：水が滲み、室内側表面が濡れる状態
	○ 泡立ち：空気漏れがあり、それが水と一緒にあって室内側で気泡となる状態
	☒ 流れ出し：室内側に水が定常的に流れ落ちる状態
	⊙ しぶき：たまった水が空気の漏れと一緒に水滴となって飛散する状態
	☒ 吹き出し：空気と水と一緒に水滴となって飛散する状態

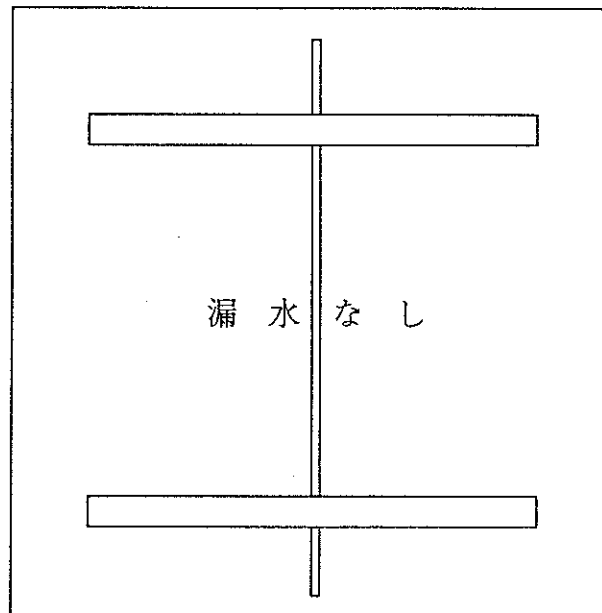
表-3 水密性試験結果

(依試7H67416号)

試験体	加圧方法	継続時間	噴霧水量	試験日
スリット	脈動圧	10 min	4 l/m <sup>2</sup> ・min	平成9年10月29日

平均圧力 (kgf/m <sup>2</sup> )	漏水状況
100	漏水なし
125	漏水なし
160	漏水なし
200	漏水なし
250	漏水なし
300	漏水なし
360	漏水なし

漏水位置 (内観図)

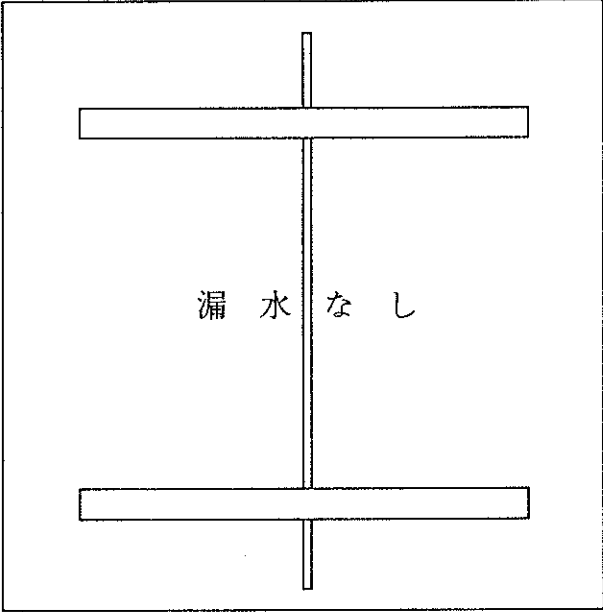


シール切断100% (15mm)

記 号	△ にじみ出し：水がしみ、室内側表面が濡れる状態
	○ 泡立ち：空気漏れがあり、それが水と一緒にになって室内側で気泡となる状態
	☒ 流れ出し：室内側に水が定期的に流れ落ちる状態
	⊙ しぶき：たまった水が空気の漏れと一緒に水滴となって飛散する状態
	☒ 吹き出し：空気と水と一緒に水滴となって飛散する状態

表-4 水密性試験結果

(依試7H67416号)

試験体	加圧方法	継続時間	噴霧水量	試験日
スリット	脈動圧	10 min	4 l/m <sup>2</sup> ・min	平成9年10月29日
平均圧力 (kgf/m <sup>2</sup> )	漏水状況			
100	漏水なし			
125	漏水なし			
160	漏水なし			
200	漏水なし			
250	漏水なし			
300	漏水なし			
360	漏水なし			
漏水位置 (内観図)				
 <p>漏水なし</p> <p>1次シール除去</p>				
記号	△ にじみ出し：水が滲み、室内側表面が濡れる状態 ○ 泡立ち：空気漏れがあり、それが水と一緒に室内側で気泡となる状態 ☒ 流れ出し：室内側に水が定期的に流れ落ちる状態 ⊕ しぶき：たまった水が空気の漏れと一緒に水滴となって飛散する状態 ☒ 吹き出し：空気と水と一緒に水滴となって飛散する状態			